



しいたけ生産・加工・販売
中野富司さん (安岐町油留木)
 しいたけ離れを防ぐために、栽培のみでなく加工品の開発にも努力してきた。世界農業遺産認定は、自分の仕事が認められたようで嬉しい。

も努力してきた。世界農業遺産認定は、自分の仕事が認められたようで嬉しい。

基調講演 「ジラス認定とその活用について」
 世界農業遺産基金 代表
 パルヴィス・クーハフカン氏
 国東半島宇佐地域で作られているしいたけは世界的に有名だが、この地に根づく文化や社会的構造が大変重要でユニークだ。ジラス（世界農業遺産）認定は、食糧保存や安全管理など世界的に抱えている食糧問題が、農林業システムの保全によって解決される要素になる。認定の重要性を理解していただきたい。



国東半島宇佐地域
 世界農業遺産推進協議会 副会長
三河明史 市長

世界農業遺産の認定を受け、6月に市役所内にプロジェクトチームを作って方向性を検討している。子ども達にため池のシステムを紹介したり、県内外への広報活動を進めている。

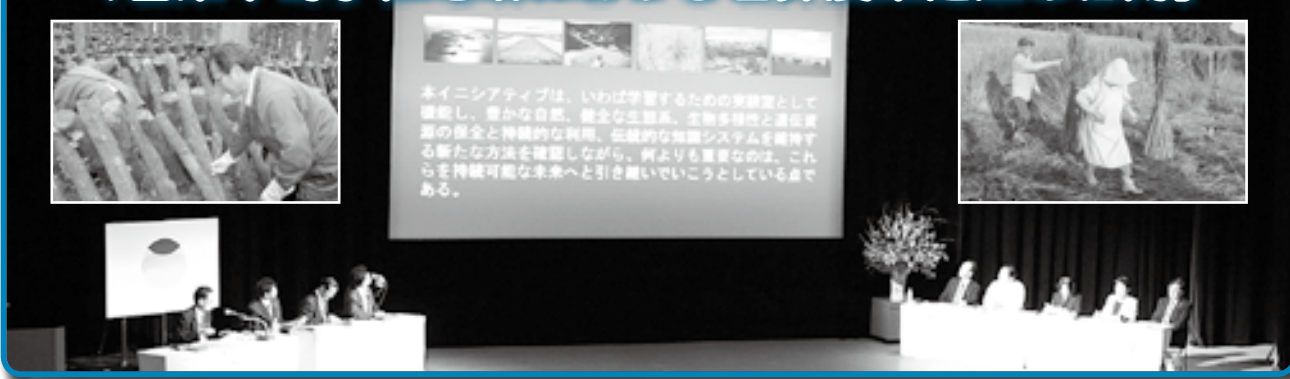
国内唯一の七島イを産業として復活させたい。質の良い製品には多くの需要がある。生産量や品質の向上と作業効率の改善が課題だ。



これを契機に、世界農業遺産のブランドを確立して差別化を図り後継者の育成を目指すとともに、体験農園の取り組みを進め、子どもを含め多くの人にしいたけを食べてもらいたい。



パネルディスカッション 「国東半島宇佐地域における世界農業遺産の活用」



本イニシアティブは、いわば学習するための実験室として機能し、豊かな自然、健全な生態系、生物多様性と漁業資源の保全と持続的な利用、伝統的な知識システムを維持する新たな方法を模索しながら、何よりも重要なのは、これらを持続可能な未来へと引き継いでいこうとしている点である。

しいたけ料理の試食会



昼食休憩時には、しいたけの消費拡大を目的に、手軽に作る事ができる料理やレシピが紹介され、来場者に大好評でした。

プロモーションDVD公開



世界農業遺産を映像でわかりやすく紹介したDVDが上映されました。推進協議会が映像制作会社に委託して作ったDVD(15分)には、国東市ケープルレビセンターが撮影・保存していた七島イ栽培や修正鬼会などの映像も使われています。
 このDVDはシンポジウムの番組と一緒に、11月2日(土)15日(金)、ケーブルテレビにさき情報レストラン(21:00時、21時、1時)で放送中です。